



2025. 5. 27
NO. 686 号

全港湾関西地方
阪神支部
大阪市港区築港
1-12-27

06-6574-8424
078-303-0800

いのちと暮らしをまもるために
大軍拡優先・労基法解体を許すな
第96回メーデー

大阪

5月1日、扇町公園にて第96回大阪メーデーが「働くものの団結で生活と権利を守り、平和と民主主義、中立の日本をめざそう」をメインスローガンに開催されました。

働く者の要求実現へ、団結の力で社会的にアピール



扇町公園にはたくさんの労働者が集った

淡路大震災から30年など、平和、人権、いのちと暮らしを見つめ直す大きな節目です。

しかし政府は、過去最大8兆円もの軍事費を計上。統合作戦本部を設置し、日本の軍事一体化で、自衛隊がアメリカの戦争に動員される重大な危機が高まっています。

男女の賃金格差は依然70%水準にあり、フジテレビに關わる性加害事件は前近代的な人権意識と企業体質を露呈しました。

能登半島地震から1年が経過しても生活者支援は遅々とし、人口減少も相まって被災地は困難を極めています。

政府・財界は、メーデーの起源である「8時間労働制」と、労働基準法を根幹から崩す、労働時間のデロゲーション拡大を企んでいます。

これらの困難の打開と平和の実現に向けて、すべての働く仲間と団結・連帯します。



デモ行進で市民に幅広く訴える

万博開催への突進は、万博後の開催予定のカジノIRのためのインフラ整備に税金を投入するためであり、断じて許されません。

いのちと暮らしを守る大阪府政や自治体行政の実現に向け、医療・福祉・教育と公務公共サービスの拡充や中小企業支援などくらしを強く求め、維新政治からの転換をめざします。

執行委員 池口 光洋

兵庫

5月1日に約4年ぶりに東遊園地でメーデーが開催され、約750名の労働者や市民、支援者が集いました。



神戸ブロック作成の横断幕はアピール賞を受賞

また、参加団体からは医労連や自治労連、治安維持国賠同盟や原水協の4団体から「人手不足や改善されない長時間労働の現状」や「非核神戸方式を守らせなければならぬ」といった課題に対して強く訴えかけ、参加者から賛同の大きな拍手が起こりました。

冒頭の開会宣言では、主催者である兵庫労連の成山太志議長により「物価上昇を上回る賃上げや消費税減税を求めてたたかっています」と挨拶されました。

執行委員 山本 英生



県庁前まで行進とシュプレヒコールでアピール



「正義は或（あ）る日突然逆転する。正義は信じがたい」。終戦の体験でその骨身に染みたと、漫画家のやなせたかしさんは自伝に書く。朝のNHK連続テレビ小説「あなぱん」のセリフでも登場した◆戦後、やなせさんは考えた。「逆転しない正義とは何か」。導き出されたのは「献身と愛」。大げさなものではなく、飢えた人がいれば一片のパンを差し出すような。これが「アンパンマン」の原点となる◆正義を振りかざす指導者によって戦禍が広がる世界に、バチカンから平和のメッセー

ジが発せられた。「謙虚で忍耐強い、武器のない平和と、武器を取り除く平和を」。◆新ローマ教皇レオ14世の演説である。紛争解決に向けて、対話の橋渡しし役を務める決意を見る思いだ◆「正義と公正はわれわれの側に」。第2次大戦の対ドイツ戦勝80年の式典で、ロシアのプーチン大統領が唱えた。軍事パレードをともしなう光景は平和から遠い◆新教皇が長年活動し、国籍も得た南米ペルーの人々の親愛の言葉から。「彼は長靴を履いて泥の中を進むような人」。献身と愛の人、と受け取る。

大阪総がかり集会

かがやけ憲法！ 平和といのちと人権を

扇町公園において、5月3日「かがやけ憲法！平和といのちと人権を」をスローガンにおおさか総がかり集会が開催されました。

日差しの強い一日でしたが、参加者は主催者発表で3500人、阪神支部からは執行部・分会合わせて15人が参加しました。

開会のあいさつでは、米田彰男さん（1000人委員会大阪）が「今、若い人

たちの中でも改憲反対が多くなってきている。自民与党は3分の2の勢力を回復したあかつきには必ず憲法を改憲すると言っている。そのことを私たちは忘れてはいけない」と話しました。

メインスピーチの中村桂子さん（長崎大学核兵器廃絶研究センターRECN A

核兵器廃絶こそ 人類を救う道

准教授からは「被爆80年核のタブーの原点に立ち返る」と題して「対話を続け、核兵器廃絶こそが、私たち人類全てを救う道なのだ」ということは、これまで

も決して譲つてこなかった。私がそこに見出すのは人間の強さで、被爆国として、平和憲法を誇る国として、『核兵器廃絶こそが人類を救う道』だという強い信念で対話をすすめよう」と訴えました。

集会後はパレードを行い「いかそう憲法・とめよう大軍拡」と書いたプラカードを手に市内をパレードし市民に訴えました。

書記次長 廣渡 信次

戦争させない、 9条壊すな！ 5・3兵庫憲法集会



畠山 澄子氏

5月3日、兵庫憲法集会がみなとの森公園で開催され、約3500人が集まりました。

メインスピーカーとして招かれたピースボート共同代表の畠山澄子さんが激化

する世界の紛争やそれを食い止めようとする世論の力について話しました。

国際平和研究所の最新の報告によると、2024年度の世界の軍事費は2兆7180億ドル（約389兆円）に達し、1988年の統計開始以来最高額を記録し、前年比で9・4%の増加となっています。

特に日本については、防衛費が前年比21%増加し、世界第10位の規模となっていることが報告され、これは日本が掲げる平和主義の立場と相反する状況です。

また軍事費の使途については、国家の防衛や予防的な安全保障のための支出がある一方で、弾薬や兵器など実際の戦争における人命の損失にも使用されているのが実態です。

畠山さんは、パレスチナのガザ地域での紛争による死者が5万人を超えている状況や、2021年のイスラエルによる爆撃で家を失った友人の体験について話しました。

続けて、核による被爆の実態について「被爆者は日本にしか居ないと思っ

を採掘して被爆する人もいる」と話しました。

また「核兵器がある世界でいいと言う事は、命を選別して大きな安全保障のためなら多少の人たちの権利や幸せ、当たり前前に生きるというのをないがしろにしている価値観を持つことだと気づいた」と語り「核だけではなく戦争を良しとする

ことは、戦争が必要、軍事力が必要だと言うことであり、そのしわ寄せを弱い立場にいる人に押し付ける事と同じだ」と論じました。

さらに「犠牲ありきのシステムは変えていかなければならない。ただそう言うのは簡単だが実際に平和運動をしていると成果がすぐに出るわけではない。むしろ政府の動きや世界の動きを見てみると落胆する事もある」と心境を語りました。

小国でも結集すれば大きな力に

一方「2017年に核兵器禁止条約が採択された時の感動を鮮明に覚えている」とし「それまで色んな運動に関わりながら核兵器廃絶や大きな政治の話は大国が動かないと変わらず、市民に出来る事は限定的だと思っていた。しかし、国連の一国一票制度の下では

分かるかな？

懸賞クイズ



【問題】

『それいけ!アンパンマン』の主人公、アンパンマンの顔の中に入っているあんこは次のうちどれでしょう？

- ① こしあん
- ② 粒あん
- ③ 何も入っていない

685号の答え「—993」

685号は2名の方から応募があり、2名とも正解でした。

以下の方にQUOカードを進呈します。
松井 謙一（三林）、
金島 真貴子（内外フォーディング）

686号の締め切り日は6月20日（金）です。ふるってご応募ください。

FAX：06-6572-0914

過半数の国が『核兵器はいらない』と言えば核兵器禁止条約が作れる。それまで核兵器を持つている大国の方ばかりを見ていたが、新しい規範を国際法や国際的な枠組みの中で作っていかるとわかった。これは小国でも結集し、市民と力を合わせれば変えることができるということだ。条約採択までリーダーシップをとっていた国はたくさんあるが、議長を務めたコスタリカやオーストリア、メキシコの外交官から『自分の原点は被爆者の声を聞いた事や、平和運動で署名を集めた人達が国連で手渡す姿を見たことだった』との談話があったことを紹介し「『草の根活動』と言うのは意味がある。明日、成果が出るものではないし、も

しかしたら自分たちが生きているうちに成果が出ないかもしれない。今日、私達がやっている事が未来の誰かに必ず繋がると思っ

てやり続けることが大事だ」と締めくくりました。

集会後には、「憲法9条を活かした外交を」と訴え、元町大丸前までをパレードして散会となりました。

戦争は今も地球上のどこで行われています。非人道的で人類の脅威となる核兵器も作られ続け



「戦争させない 9条壊すな！」を掲げ参加者全員で訴えた

青年部・ブロック合同学習会

労働条件って、どこで、誰が、どう決める？

職場と生活に労基法を活かそう！

5月10日、大阪港勤労福祉会館にて青年部・ブロック合同学習会を開催しました。

労働基準法は必要最低限の決まり

講師には大阪労働健康安全センター事務局長の丹野弘氏を招き、23分会から青年層28名、大阪・神戸のブロック員16名、執行部8名、総数52名が参加し、労働基準法の基本について学びました。

はじめに久保田書記長より開会の挨拶があり「労働基準法とは、我われ労働者が働く上で必要な最低限の労働条件を保障することを定義としている。青年部・ブロックの皆さんが今後交渉する立場になっていくことを前提に労働基準法を学んで欲しい」と呼びかけました。

講義では丹野氏がスライドを用いながら、労働基準法の成り立ちや基本的な枠組みについて「労働者の権利は憲法によって保障されており、労働基準法はその具体的な支えとなる法律であり、労働者を守るためにある」と説明がありました。

と。内容には労働時間、賃金、安全衛生など幅広い項目があることなどを丁寧にわかりやすく解説しました。

各章の概要を実際の職業に置き換えて説明されたことで、参加者一人ひとりが働いている職場と照らし合わせて理解を深めることが出来ました。

労働組合・団結力の大切さ

また「労働基準法の最大の特徴は、労使間で合意があっても最低基準を下回ることには許されない点にあるが、それはあくまで最低限。より良い職場環境の実現には、労働組合が団結して交渉を重ねることが必要だ」と強調しました。

この法律があっても、やはり個人で使用者（会社）と対等な立場になるのは実際には困難な状況であり、いかに同じ思い、立場の仲間と労働組合に所属し団結することが重要であるかを感じました。

はじめましてでも仲間、同じ思いでガンバロー！

また、質疑応答では3名から質疑があり、割増し賃金の意味、賃金体系・労働条件の違いなど、時間の許す限り回答をしていただきました。

前号で非核「神戸方式」決議50周年の集いについての記事を掲載した。発行日は4月2日付けであったが、編集日は3月17日、事件はその間に起きた。

非核神戸方式について今一度振り返ろう。

1975年3月18日、神戸市議会が非核三原則に基づき「核兵器積載鑑定の神戸港入港拒否に関する決議」を採択した。これにより神戸市は神戸港に入港する外国艦船に非核証明書の提出を義務付けた。この非核「神戸方式」が確立してから50年間このルールが守られ、米国の軍艦は1隻も入港していなかった。

主張

市と国は非核「神戸方式」を尊重し、遵守せよ！

とところが今年3月24日、決議採択以降、初めて米海軍の掃海艇「ウォーリア」が非核証明書なしで神戸港摩耶埠頭に入港した。

これは「核兵器を搭載していないことにつき、わが国政府として疑いを有していない」との外務省の回答を受けて、神戸市が入港を許可したためだ。

非核「神戸方式」は核兵器搭載の有無を否定も肯定もしない米軍の方針に対抗する手段として打ち出されたものだ。外務省の回答の

みでは非核証明になっていないことは明白だ。ましてや政府は日米同盟優先で真偽のほどは定かではない。今後外務省への照会のみで許可すれば、非核「神戸方式」は骨抜きにされてしまう。50周年の集いに寄せられた神戸市長の「誰も



入港したウォーリア

じことが繰り返されないことを願うとともに、地方分権と地方自治が危機的状況に進んでいると言わざるを得ない状況を市民運動で阻止しなければならない。



市民が集い強い反対の意思を示した

が安心して暮らせる街を目指すため、神戸港の非核を尊重し、恒久的な平和を目指す」としたメッセージは何だったのか。舌の根も乾かぬうちに見事な二枚舌で平和を願う神戸市民の思い

青年部
日本高速輸送

岩鼻 迅



労基法を基礎から学び、青年層・ブロック員が未来を切り開こう

大阪・関西万博 開幕から一か月・・・

開幕までの約二年間、大港労協とともに「港湾物流には絶対に影響を出さない」ことを大前提に、万博協会や港湾局と対策会議を何回も重ねてきました。

海コントレイラーの動線変更の周知徹底と待機場所の確保、夢舞大橋く夢咲トンネル間の基幹道路駐停車禁止の啓もうとDICT側への一般車流入を防ぐための警備員の配置など、港湾物流に携わる立場から問題提起と対策の必要性を万博協会に丁寧に行い、一定の措置をとらせることが出来ました。

万博による物流への混乱に対する私たちの心配とは裏腹に中国経済の低迷やトランプ関税の影響なのか、港湾物流の取り扱い量の低下が「万博開催×港湾物流」大混乱の状況は幸いにも現状は免れています。



夢洲内基幹道路で
駐停車車両を
監視する警備員

今回はこれまで万博問題を共有してきた他産業の労働組合や共闘組織などから得た情報など「大阪万博会場ルポ」を紹介され「案内入れるのかも」と期待したけど長い列で、どれだけの待ち時間なのかわからない場合もあります。

食事も列が続いて、土産物物販店に修学旅行らしい学生が並んでいました。



並ばないハズが・・・どこも大行列

場ルポ」を紹介したいと思っています。

大阪万博会場ルポ① 実際に万博会場を訪れた阪神支部組合員から

行列のない万博では？

開幕前の宣伝で「行列のない万博」をアピールしていましたが、しかし入場ゲートまで行列、各パビリオンや大屋根リングの上りエスカレーターでも長蛇の列ができています。協会ホームページで予約の必要がないパビリオンが紹介され「案内入れるのかも」と期待したけど長い列で、

どれだけの待ち時間なのかわからない場合もあります。

食事も列が続いて、土産物物販店に修学旅行



日よけの無いところで待機する小学生たち

1周約2キロの大屋根リングでは、最上部へ向かうスロープは幅が狭く、立ち止まって写真を撮る人もいるので、すれ違うときに譲り合い。エレベーターやエスカレーターは各5カ所設置。

しかし案内表示が不十分な場所も。落雷や地震・津波の時、大屋根リングから避難を求められても、混雑時はもちろん、平時でも避難にはかなり時間がかかると思われま。最上部には点字ブロックもあります。大屋根リングでは「涼しい風が吹いて気持ちいいな」と眺めに感動の声も多



く耳にしました。万博は何もないときはメタンガスや災害時の危険などを感じることなく、各国の工夫を凝らしたパビリオンの造形や展示を楽しむことができます。しかし、これは「薄氷の上の安全」です。

大阪万博会場ルポ② 教職員組合から

メタン濃度高い西側で子ども達が休憩

会場では、列に並んで移動する小学生、グループで行動する中学生らの姿が目立ちました。団体休憩所は5カ所。同時に1800人が使える会場内最大の広場は西ゲートのさらに西側で会場外になります。13時すぎに50人程度の小学生が昼食休憩中。団体休憩所の利用は11時から50分ごとに4枠の入れ替え制です。集中

する時間帯はどうなっているのか心配されます。

西側休憩所のエリアは昨年3月、土中から発生するメタンガスによる爆発事故が発生。西ゲートからは現場付近を通る必要があります。このエリアは電気や通信設備用マンホールには、パビリオンワールドのマンホールにはない「穴」を開けています。

バス駐車場など交通ターミナルから会場に向かうルートも「ガス抜き」が必要なエリアです。メタンガス爆発が「万博遠足」中止の大きな理由になっていました。

万博協会が「ガス安全確認情報」を毎日ホームページで発表しています。しかし、ガス発生場所やガス濃度に触れておらず「安全にご来場いただけます」とアナウンスするのみです。爆発事故を受けて、毎日の濃度を適宜発表できるように検討すると説明したのに大きな後退です。

大阪万博会場ルポ③ 医療に従事する労働組合から

いのち輝くハズが、来場者の健康は？

団体休憩所は14時半以降に一般開放されるので、一般の休憩所とあわせ、常時多数の来場者が利用してい

ます。屋根のない場所にもベンチが並んでいます。これから日差しが強くなり、気温が上がる時期を迎え生徒たちの熱中症など健康管理が心配です。

万博会場内に救急車のサイレンが響きました。協会は50歳代の女性が心肺停止の重篤な状態で搬送され、その後「死亡」を発表しました。初の死亡事例として、迅速な公表や詳細な報告など、協会の姿勢が厳しく問われています。

会場には5カ所の応急手当所と、医師が常勤する3カ所の診療所があります。診療所のうち、2カ所は16時30分で閉所しています。救急事案は、万博会場内に待機する医師が診療した上で、救急隊に要請しています。「熱中症ではなかつた」というだけで症状などは未公表です。



応急手当所には十字マークのみで
医療施設とは分かりにくい

協会によると「開幕後4月27日までに51件の救急搬送があったが、熱中症による緊急搬送はなかった」としています。今後、熱中症や食中毒の増加が想定されます。十分な対応は可能なのでしょうか。

応急手当所と診療所は、地図には「医療救護施設」で掲載されています。しかし、会場規模から考えても医療体制の設置は全く足りていません。実際の救護施設に行っても表示看板はなく「十字マーク」の表示があるだけで「とてもわかりにくい」と改善を求める声が上がっています。

メタンガス発生で爆発のおそれ、避難できず孤立する災害時、混雑・滞留による駅や会場での事故、熱中症の恐れ。「夢洲」を会場にしたためにいろんな面で「危険」と隣り合わせになり「孤島の弱点」を改めて浮き彫りにしました。

運用等についても安全のために改善を重ねるべきです。万博協会には、積極的に情報を公開し、来場者の声を聞く責任があります。また、これから夏休み期間に向け来場者の拡大が予想されます。物流への影響にも注視しながら、組合員の皆さんへ情報発信を続けます。